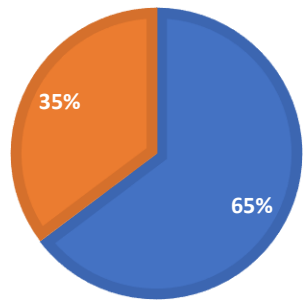


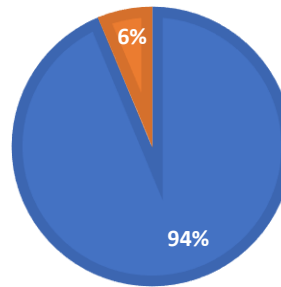
問1. 講義「ピアサポートとは」について

1) 内容について理解できましたか？



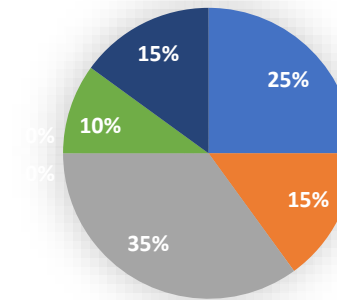
- 1. よく理解できた
- 2. やや理解できた
- 3. どちらでもない
- 4. あまり理解できなかった
- 5. 全く理解できなかった

2) 内容はいかがでしたか？



- 1. とても満足
- 2. やや満足
- 3. どちらでもない
- 4. やや不満
- 5. とても不満

その理由を教えてください

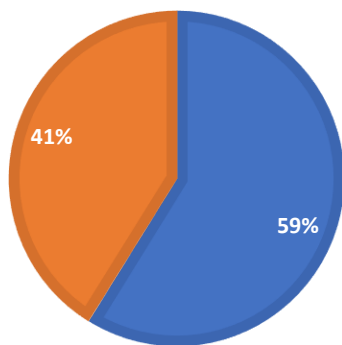


- 1. わかりやすかった
- 2. 新たな知識を得られた
- 3. 基本を学べた
- 4. 内容が不十分と感じた
- 5. 難しかった
- 無回答
- その他

- 1. 自分の思考や問題解決場面における傾向・クセを知ることができた。
- 1. 具体的な患者会での注意点を知ることができた。
- 1. 実際ががんサロンをやっていらっしゃる野田先生の現場のお話がきけてよかったです。
- 1. 他者の意見を聞く機会を得られ、自分の振り返りなどもできた

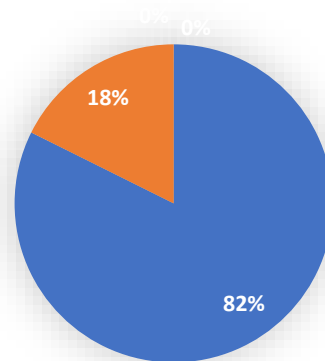
問2. 講義「知っておきたい基礎知識」について

1) 内容について理解できましたか？



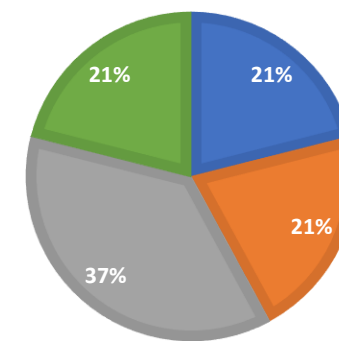
- 1. よく理解できた
- 2. やや理解できた
- 3. どちらでもない
- 4. あまり理解できなかった
- 5. 全く理解できなかった

2) 内容はいかがでしたか？



- 1. とても満足
- 2. やや満足
- 3. どちらでもない
- 4. やや不満
- 5. とても不満

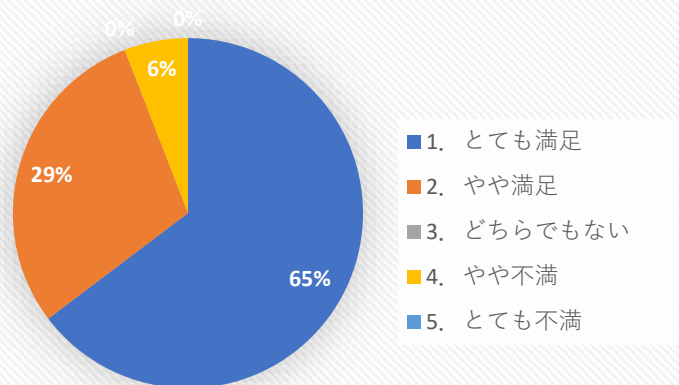
その理由を教えてください



- 1. わかりやすかった
- 2. 新たな知識を得られた
- 3. 基本を学べた
- 4. 内容が不十分と感じた
- 5. 難しかった
- 未回答

- 2. ピアサポートについて具体例がきけてよかったです。逆にリカドードのセルフヘルプグループとの違いがよくわからない（どちらかという個人的にはこちら（セルフヘルプグループ）のスタンス）

グループワーク①はいかがでしたか？



1. 普段話せない同じようながん経験をしたナースと話すことはとても新鮮で多くの刺激を受けた

1. テーマを決定せずフリートークという形で進めていただいた。「テーマを決めてしまうと看護師さんってその話しかしなくなっちゃうので」という講師の方の言葉が印象に残っています

1. 改めて振り返ることができました。

4. 目的の趣旨がイマイチ理解できていなかった。(スママセンが)フリートークという感じで結局結論がなんだかわかりませんでした。

1. 疾患告知から3年すぎ、なかなか病気のよわねや気持ちを表出する場面がなかったけど、その機会を設けることができた

1. がんの種類も治療も多種多様で、また経験もそれぞれ異なる話を聴けてよかった。みんな同じなんだと思うことも多かった。

2. 他の人の考え方を聴くことが勉強になった。話し合う時間をもっとほしかった。

2. 他の人の考え方を聴くことが勉強になった。話し合う時間をもっとほしかった。

1. 話しながら自分の考えをまとめることができ今までの考えの再確認ができたのでとてもよかったです。

1. グループの方々のお話を聴くことで同じ思いでいる心強さや安心感があった。

1. 自分が患者になって初めての経験、患者に与える大きさ。自分の時は〇〇だったとみなさん違う意見が聞くことができた。

2. 新しいナースの働く場所等きけてよかったです。

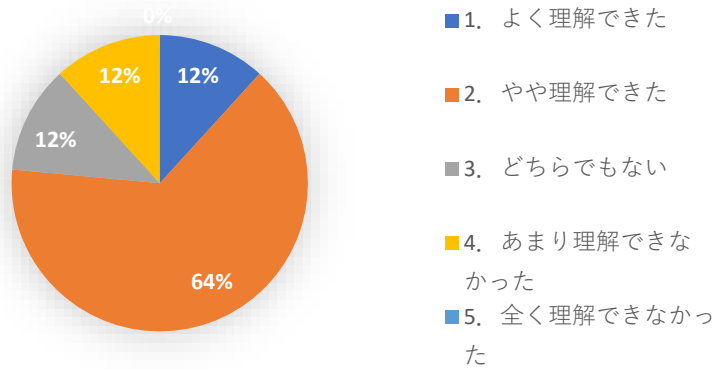
2. テーマを決めず、ゆるく運営して下さってありがたかったです。自分の気持ちの振り返りすることができました。ワールドカフェスタイルは苦手なので…フリートークのグループワークにしてくださって助かりました。ありがたかったです。ワールドカフェは、テーマが決まっている、紙に書くので話し手の表情 ets に注意が行かない。まとめようとしてしまう。話しすぎて、盛り上がりすぎて、すこしつかれてしまう ets

1. 他者の意見を聴くことで、自分では感じなかったことや経験を聴くことができ、日々接する患者も色々な感情を持つのだろうということを再認識させられた。患者さんのサポートをしていきたいという仲間がいることが心強く思えました。

2. 皆さんの経験をきくことができ、話しあうことができてよかったです。

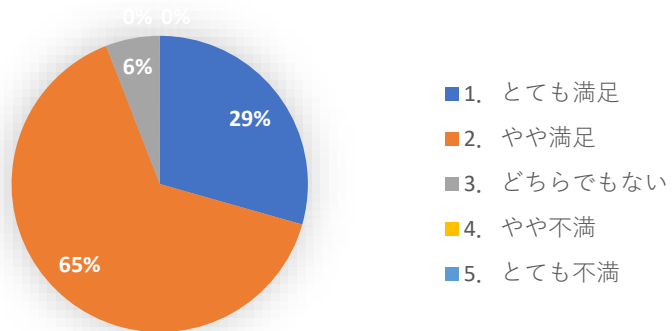
問4. 「よりよいコミュニケーションのために」 DVD 視聴について

1)内容は理解できましたか？

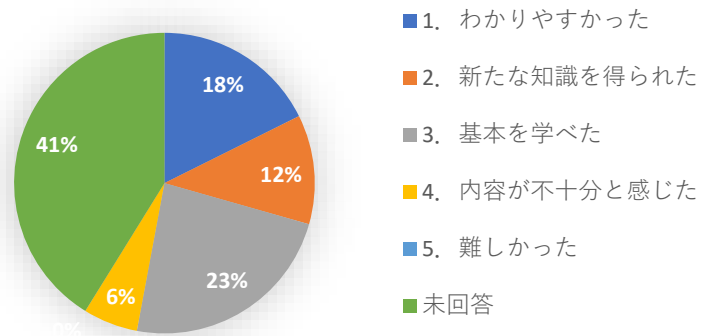


6 その他. 講義が聞き取り難かった。(ゴメンナサイ) 資料はとても分かりやすいです

2) 内容はいかがでしたか？

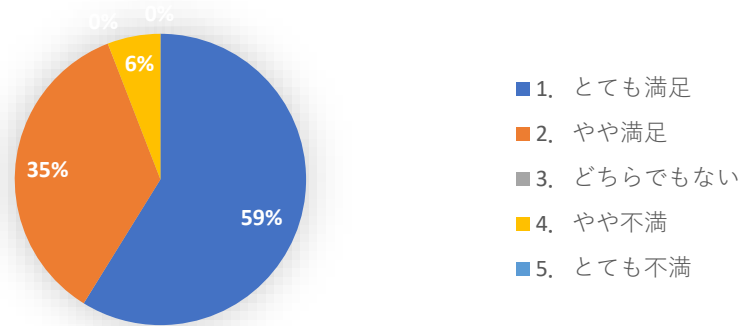


その理由を教えてください



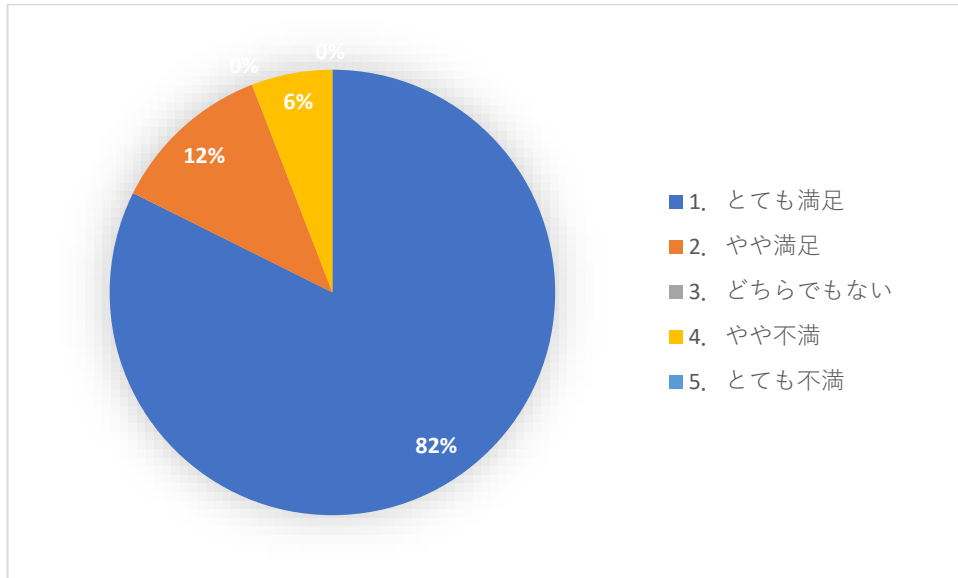
4.患者さん役の方の変化が素直すぎてピアを悩ませたり困惑させるような所がなかった。

問5. グループワーク②「ピアカウンセリングとの違い、医療現場での実践や地域でどう活かすか」



1. 経験をもとにそれぞれの働き方を聞くことができた
1. どのようにがん経験を意味付けして看護に生かしているかを知ることができた
1. またまたフリートークで進んだので、質問に答えることが難しいです。
1. 経験は違えど共通点が多くあることに気づくことができました。
1. 様々な経験を聞くこと、自分の体験に追加できた。
1. 他のメンバーの上向きな意見をきけて刺激を受けた。
1. 現在の立場が異なっても、それぞれ自分の経験を活かしたいと思う。気持ちは同じだと思った。
2. 職場で活かせる方法を考えるきっかけになった。
2. いろいろな考えがあるということで今後の自分の進む道について参考にしていきたいと思いました。
1. 未回答
2. 2回目のグループワークでは話の焦点が定まらず、意見交換があまりできなかった。
2. 自分の経験の生かし方をもう少し具体的に考えればよいなと思っています。ほかの人も同じ方多く、それだけでさらに考える気力となります。
2. 「経験を活かさなければいけない」と思うってしまうこと自体が当事者のNsの無力感のあらわれかも・・・？あせらなくてもいい・・・と思えたらいいなあと。(たぶん私は焦っているのだと思う・・・。何かできない私(=経験を活かせない)は価値がないのでは？何か欠けている「このままの私ではダメ?!」と思っているのか？と思う)
1. 自分とは違った経験を聞くことができ、そのように考える方もいるのだと違った目線で見ることの必要性などにも気づけた。
1. 話し合いの中で、いろいろ考えさせられて、新たな気づきがありとてもよかったです。

問 6. 本日の研修会はいかがでしたか？



- 1. ピアサポートの重要性と患者さんとのかかわり方を学ぶことができ、日々の看護に生かせると思った。
- 1. とても素晴らしい県だと思います。
- 1. 自分の看ゴを見直すことができた。看ゴの考え方の違いで、いろいろな対応ができることがよくわかった。
- 1. 新しい仲間が増えたこと、グループワークで自分の意見を言うことで、自分の気持ちや思いが整理できた。
- 1. グループワークも多く、自分の意見を言う時には考えながらまとめながら話すことができた。
- 1. 話し合う場がもてたことで今後どのようなサポートをしていくことができるか考えるきっかけになった。
- 1. 心強い仲間がたくさんいることで勇気ができました。
- 1. 未回答
- 1. 1日目でもとても緊張した中での研修でしたが、皆さんのお話しがたくさん聞けて本当に良かったです。改めて「学ぶ」ことは楽しいと思いました。
- 4. リエゾンの先生の話を知った。
- 2. レジリエンスのエンパワー、リカバリーなどがんに限らず、障害、病気 etc などすべてのかかわり方は同じだと思う。
- 1. 様々な方と出会うことができ、一緒に学ぶことができよかったです。

問7. 本日の研修全般について、ご意見やご感想をお聞かせください。

皆ちがって、皆それぞれ良いということ。看護師が陥りがちな思考についての気づきが多くあった。(患者を落ち着かせようとか、泣き止ませようとか思ってしまうことに気が付けた。)

自分の経験= 1) (仕事上の問題点) としての経験 2) 患者の立場になっての経験 etc があり、話の範囲が広いような気がしました。 症例検討でもよかったかなあと 思いました。がんの看護、奥が深いと感じました。

いろいろ話を聞けて大変参考になりました。

「スーパーナースを目指さない」特に心に残ったフレーズでした。患者さんを個人として受け止める、難しいけれど大事なことだと改めて思いました。

病院内でのサポート種類について具体的に知ってみたい。

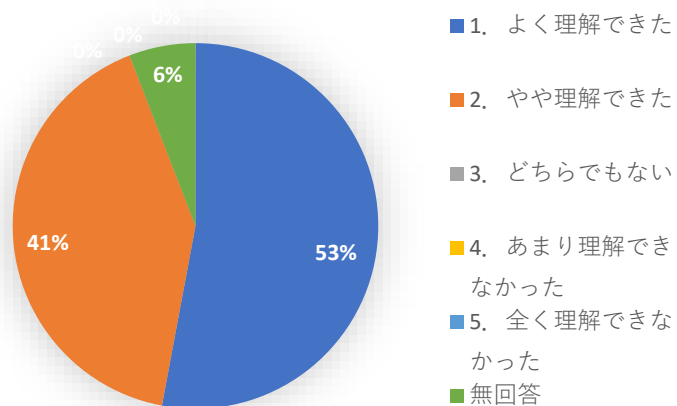
同じぴあの仲間と色々な方達と共通認識ができました。グループワークは貴重な体験のお話をきかせていただきました。

先生の声が少し聞き取れない時がありました。お菓子ありがとうございます。

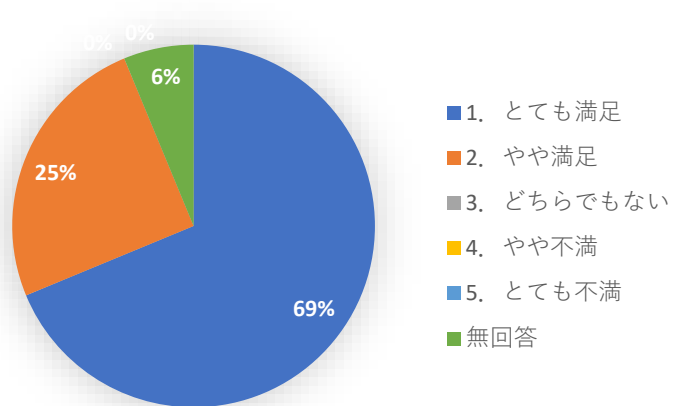
ふだんがんサバイバーということのを忘れがち～忘れるのはインパクトがうすれているから(本当は忘れたい?) いいことかと思えるが、この場に来ているということはやっぱり忘れないんだろうと思う。(がんになってよかった!とは思えないが・・・キャンサーギフト本心からは言えないが「せっかくがんになったんだからネタにしよう」とまでは、アーティストではないのでできないし、まあいいや・・・私はいっしょうけんめいがんばれないんで、ゆるくて・・・!みたいな気持ちです)

問8. 講義「コミュニケーション」について理解できましたか?

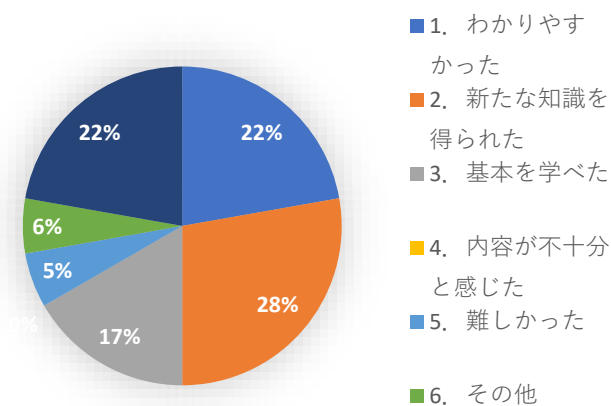
1)内容は理解できましたか?



2) 内容はいかがでしたか?

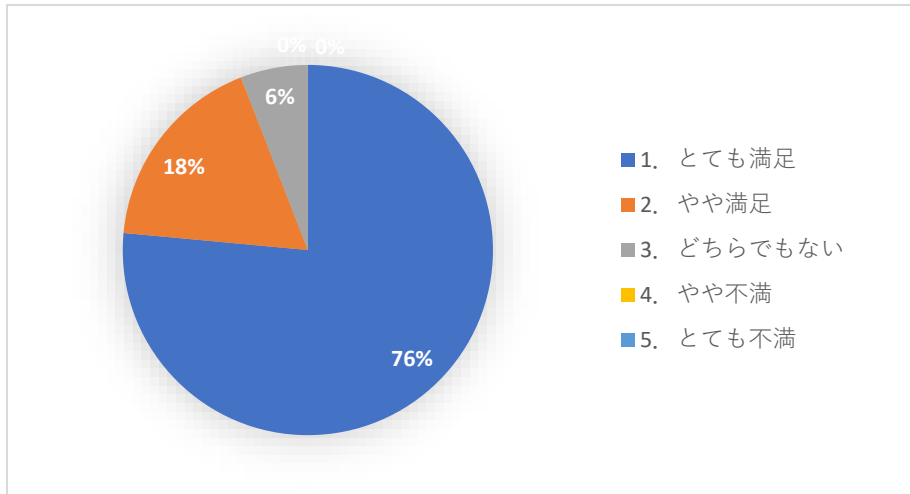


その理由を教えてください



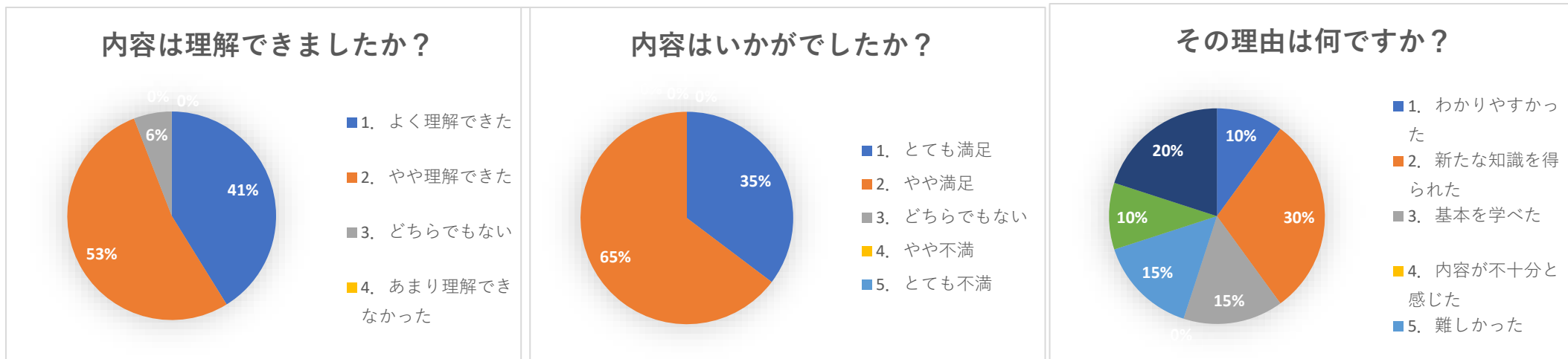
6. 佐藤さんの経験談から来る講義がよかった。Clf と PeerNs が上→下ではなく「対等」というのはがんに限らず、他の病気とか障害の方と一緒に

問9. ロールプレイはいかがでしたか？



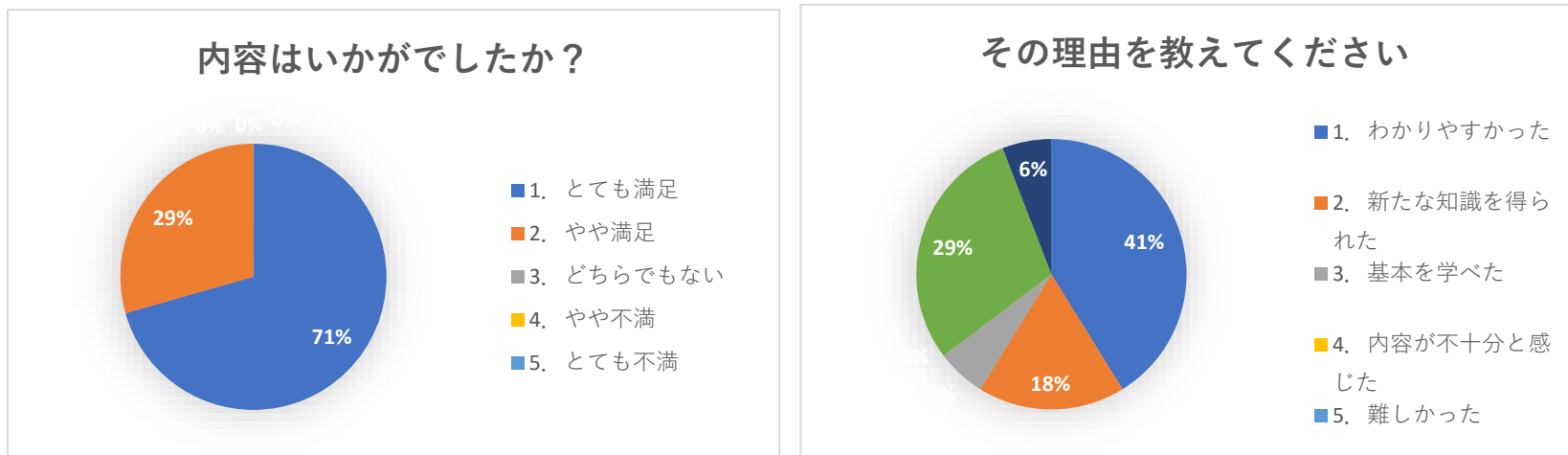
4. 実際にどのようにコミュニケーションを取ったらよいか。効果的な方法(私の場合は・・・と切り出すタイミング等)を考えることができた。
3. 自分の苦手な授業でした。倫理の部分で治療の最終決定は"患者"なので、患者の意見を述べるようなコミュニケーション技術を得とくしたい。訓練だと思いました。
2. 自分の話し方の特徴がわかり、次回の時に役に立ちそう。難しい、難しいと逃げてはいけないと思った
1. 自分のナースとしての傾向をしることができたり、気付かせてもらう(承認)機会になり、しんどいという思いの中で何かすがすがしい気持ちになれた。
 1. 思いもよらない言葉が相談者から出てきたり、想定外のことが起こると動揺してしましたが、沈黙のスキルを使いながら次のアプローチを考えるなど、ロールプレイをすることでより実践に近いことを学ぶことができた。
 1. 3役を通じて見え方が全く違うことがわかった。客観的にNS役を見ることで学びが大きかった。
 1. 自分では気付いていない傾向などを言ってもらい、良いことは継続できるように改善すべきことは意識して変えていこうと思いました。
 2. 自分の弱点を知ることができてとてもよかった。もっとロールプレイしてみたいと思いました。(想定外に対応するのに頭が混乱してしまいとても嫌だけど自分の癖をすることができるいい機会だから)
 1. 初めてのロールプレイでしたが、自分の悪い所や他のメンバーの良い所などを学べて有意義な時間を過ごすことが出来ました。
 1. 緊張してどのように声かけして良いかわからなかったが、アドバイスを受けて視線を合わせること。沈黙も大切なことを学ぶことができた。
 1. 患者になりきったせいか、ピアナースの方のかかわりが大変よくわかった。自分の傾向を他者と比べて少しわかった気がしました。
 1. 自分自身のふりかえりさして頂くことができたので良かったです。自分がどう感じているか？ということ普段以上考えることが必要と思った。
 1. 個々の場面があり、その時々に対応を考える機会にもなった。
 2. 自分のコミュニケーションのくせを知ることができました。患者さんの話をじっくり聴くことの難しさが分かりました。

問 10. 講義「臨床倫理」について理解できましたか？



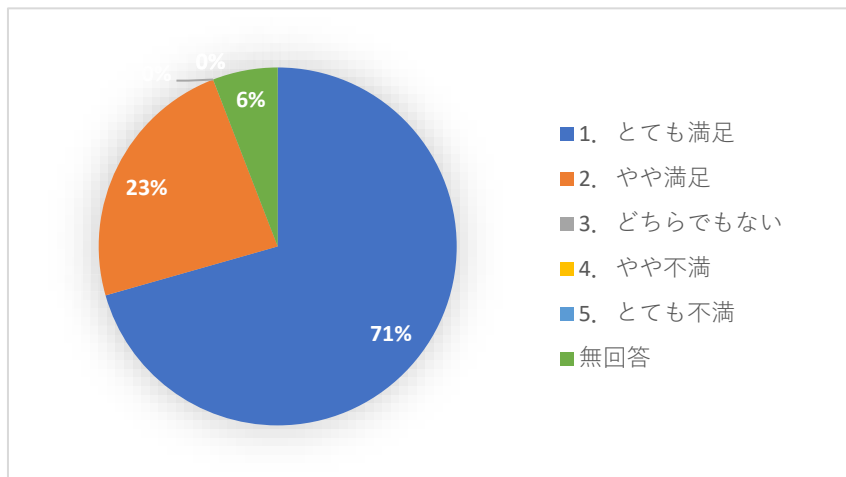
6. これは割り振り時間がいくらあっても足りないなど。価値観・死生観の多様化した現在、かんがえてもまなんでもおいつかないだろうなど
6. 臨床倫理って？と思っていましたが、そういう角度からの見方も必要と改めて思った。

問 11. 講義「ぴあナスそれぞれの働き方」の内容はいかがでしたか？



6. がんを経験してどのように生かしているか、知ることができた。
6. それぞれの働き方空き方・・・働くことをやめた人、働かないことを選択した人の事例も聞いてみたいです。
6. がんになっても好きな看護の仕事の続けていけると、自身と希望になりました。
6. 自分次第でどうにでも活かす方法や時期があるのだと思いました。
6. 誰に対しデモ立ち位置は同じだなどと思いました。
6. 先輩方の経験を知ることができ自分もどう生かしていくか考えるきっかけになりました。

問 12. 研修 2 日間を通していかがでしたか？



4. これまではピアという場面で話しにくかったり、声をかけづらい(患者さんに気を遣わせる)こともあったが、自分の経験を話すことへのハードルが下がったと思う。

4. 大変充実していました。仲間とのつながりもできた事は大きな力となります

1. コミュニケーション技術ってとても奥が深いです。自分の一言で相手(患者)の受け取り方って千差万別です。患者の思いを表出できる声かけ、雰囲気作りしたいです

2. ピアカウンセリングの基本がわかりました。

1. がんサバイバーになってからの思い、感情など、出来るだけ振り返らずにいこうという思いが強かった中で、その思いをとりもどすことでその思いを共有する中で、心の中が軽くなった。あと仲間がいることが分った。

1. 講義も有意義だが、グループワークやロールプレイなど、自分で考え発言し、他人の意見を聞くことができたから。自分では考えつかないような意見に新鮮な気持ちになりました。

1. 基本と実践ができてよかった。自分の患者としての体験の振り返りとこれからの働き方について考えるきっかけとなった。

1. ナースのパワーってすごいと改めて感じました。病気をバネに更に頑張りたいと思い行動している方々に勇気をもらえました。

1. 多くの事を学ばせていただきました。今の仕事に役立てられるようヒントがたくさんありました。また、自分の声をきいていただいて共感していただいて、とても有難い場でした。

1. 「学ぶ」ことの大切さを改めて感じました。同じ経験をされている方に出会いまたお話を聴くことで新しい1歩を踏み出せるように感じました。

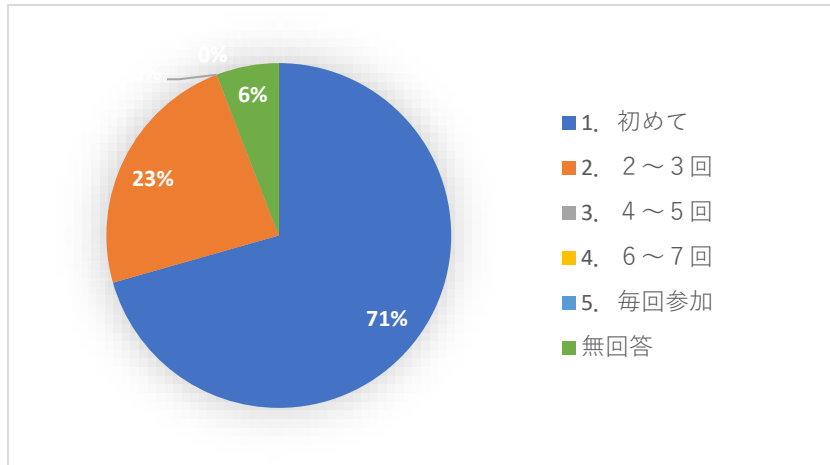
2. ぴあであることで相談者に安心感や希望を与えることもある。これは間違いないなということを感じた。

2. 治療は「前向きに」とりくまなくてはいけないのか？ネガティブな気持ちからポジティブな気持ちにならないといけないのか？がん治療はのりこえなくてはいけないものなのか(今夏の保坂 Dr 講演のテーマ)別に後ろ向きでもいいじゃん！！なんて腹が立ってきます。今頃怒りが出てきているのは、がんになった理不尽さか？ハーマンのいう「援助者への怒り」なのか？と思う。(みんないっしょに一致団結が苦手・・・)

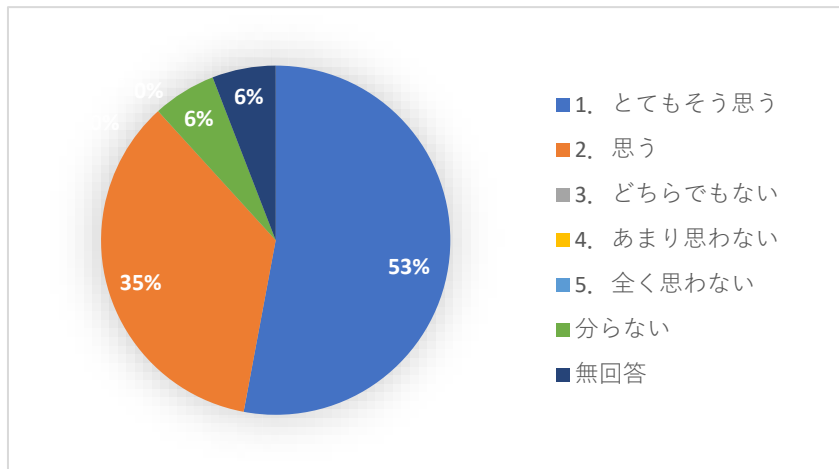
1. 皆さんがんサバイバーナースではあったけれど、その中でも考え方や価値観が十人十色だった気がします。押しつけではなく寄り添えるナースでありたいと感じています。

1. 研修内容もそうですが、スタッフの皆さんや受講生の皆さんの働き方、生き方、考え方からたくさんの刺激を頂きました。

問 13 これまでのびあナース研修会への参加回数を教えてください



14. びあナース研修会への参加は、あなたにとって影響がありますか。



1. 講師の方や研修会で出会った方の話を聞くことで、視野が広がりました。ぜひ中級の研修会も参加したいと思いました。

2. 同じ経験をした仲間がいることが心強い。

今はまだ、どのような変化が私にあるのか、そもそもわかりません。

1. びあナースとしての活動を広げていきたいと思いました。世の中に“びあナース”の存在をもっと知ってもらいたいと思いました。

がんになってできなくなった事、できるようになった事色々あります。自分がどんな看護がしたいのか模索していて、やっぱり自分が患者体験した事を少しでも活かせるよう仕事したい（看ゴ婦）

1. 看護の基本に戻り、もう一度考え直すことができました。学びを整理し、看ゴに活かしてゆきたい。話を聞くこと、待つことも大切だと学びました。

2. がんサバイバーライフという言葉聞き、発症後3年がんサバイバーであることを積極的に周囲に知らせずにいた。研修を受けたことでサバイバーナースだからできること、参加できる場面など、現状やおかれる業務の中でうまく生かしていきたいと思う

1. 患者さんには患者さん個人の「らしさ」があり、私には私の「らしな」がある。それは誰にも否定されないし、されるべきではない。

1. これからの働き方について考えるきっかけになる。看護師としての役割について自信につながる(辞めなくてもいいんだと思える)

2. 病気になったことを強みとして活かしていくことに自信がもてるようになった。

1. 同じような立場の方が多くいらっしゃる事がわかり「ひとりじゃない」と思えることが私の救いでした。味方、仲間を得られたような。これからもナースとして働く自分のパワーになったような。

1. サバイバーであることを前面に出す事に後ろめたさがありましたが、その事を伝える事で誰かの人生の役に立ち希望を与えられると思った。

2. 同じ病気を体験したナースが集まり研修できた喜び、と、感謝しております。

2. ぴあであること、がん経験者であること、そのまま生きていければいいと思いました。

2. がん経験を生かした活動をこれからできるか? 「私は何もできない」⇔「活かし方 何かあるかも?」の間で揺れている私に気づいています。この会に会員として参加していることが(参加できなくともメンバーとうろくしていることが)私自身のエンパワーではないかと?(時間のある人は時間を、お金のある人はお金を、技術がある人は技術を出しあう 当事者のやれることかと思えます)

1. 患者さんのフォローではなくサポートをしていきたいという気持ちが強くなりました。医者の前での患者さんだけではなく、他の場面での患者さんをぴあナースとして支えていければと思ってます。

2. 新たな気づきがたくさんあり、自分も新たなスタートを切ってみようかという気持ちになれます。

15. 2日間の「ピアカウンセリング・ナース初級」養成研修会についてご意見やご感想をお書き下さい

何かしなければ・・・という思いが強いです。すごく自分中心な考え方だと思いました。その方の悩み(思い)を中心に(見極められるよう)かかわっていきたくと思います。

事務局の皆さん。ボランティアとのこと。時間を取って計画していただき、ありがとうございます。またお会いできることを楽しみにしています。

濃密な、フレッシュな、スムーズのような、時にドロドロした(?)エスプレッソのような、すごくギュッと詰まった二日間をありがとうございます。患者様の想いを受け止める難しさと恐ろしさを知りました・・・。

世間にもっと発信していき、ぴあナースのことをたくさんの人に知ってほしいと思いました。学びの多い二日間でした。本当にありがとうございます。

がん体験を活かせるように学びたいと思っていますが、あせることはないと感じた。もう少しゆっくりできる

ことを見つけ、できることから実行できるようにしていきたい。患者と同化しすぎていることもあると思うので、堅くならずケアができたらと思う。

たくさん「ぴあ」に出会えて嬉しかったです。みなさん看護が好きでパワフルで素敵なピアです。今回の学びを基本にし、そこに自分らしさを肉づけしながら私なりのピアナースを目指します。次回中級コースに参加できるまで、少しでも成長していきたいと思えます。2日間ありがとうございます。

グループワークがあったのでとても良かった。それぞれの意見や体験が自分の価値観の変化に繋がると思う。いろいろな話しを聴くことで「そうなんだ」と新たな発見になった。

ありがとうございます。こんなにも「素」の状態で誰かに病気のことを話せたのは初めてでした。気持ちが軽くなりました。

講師の皆様、ファシリテーターの方々が私達を良く見てくださって、とても実りある会だったと思えます。自分で考えさせる時間も多くあり、「ただ聞く」研修ではなく「自分の身になる」研修をさせていただいたことに感謝します。いただいた今回のご縁を次につなげたいと思えます。

とても勉強になった 2 日間でした。もっともっと色々勉強して引き出しを多くして行きたいと思えました。今自分の出来ることを明日から現場で実践して行けたらと思

います。「勘」と「逃げない」

ロールプレイの難しさ、新たな知識を得ることができました。その人、相手のペースに合わせて見極め、声のトーン等コミュニケーションスキルについて学ぶことができました。また、いろいろな方々の経験を聴くことができ勉強になりました。自分にできることを見つけていきたいと思います。

上原代表はじめ事務局の方、大変御苦勞様です。こういう研修をはじめた事じたいにとっても感謝であり、サプライズです。リエゾンナースの方に専門的な講義を受け勉強になりました。

1回目のフリートークでグループワークのファシリテーターさん方も観察してるだけでなく、一般の人でなくお互いがんサバイバーのぴあナースなのだから同じように対等に「自分のこと」を語ってほしかったしおききしたかった（今日はファシリテーターなので話せないのですが・・・とってらしたのが気になりました）同じワークで4~5人ずつのグループでしたが参加者15名なので、机を取りお部屋の中央にみんな側になってフリートークでもよかったなあ・・・それだったらみんなの感情も声のトーンも見えたし、G毎まとめなくてもよいので、その方がプレッシャーが↓ですが、何を話していいか？わからない・・・かくすものがないなどで緊張↑かも？この場を設けて下さったスタッフの皆様にお礼申し上げます。がんばれない、がんばらない（いっしょうけんめいでない）「ぴあナース」にも今後ともどうぞ「居場所」をつくってください。一日目の初めに「この場でのお話は外へ持ち出さない」etcの案内があったか覚えてないのですが、この場の安心のためにももしなかったらアナウンスされた方がよかったかと・・・)

是非今後も活動を続けていってほしいと思います。研修とはずれますが、ぴあナースのバッジあったらいいなと思いました（患者さんがピアを探しやすいかと・・・）
基本的な知識からロールプレイ、グループワークなど様々な内容を学ぶことができました。

※各ご意見前の数字は、先立つ質問に回答した番号といたしました。